

令和7年度 エコエコかながわ
『身近な企業・環境を知り かるたづくりに活かそう！』

【 第3回 工場見学 (株)バイオフードリサイクル横浜工場】

見学先：(株)バイオフードリサイクル横浜工場

◇出席◇ 受講生：2名 運営委員：4名 オブザーバー：1名 合計：7名

1) 本日の講座で印象に残ったことは何ですか？

・「川上で出た食品廃棄物はリサイクル、再生利用に適するが、川下で出た廃棄物はどうしても活用しきれない」という言葉。環境に対して企業として厳しく守れる一方、家庭個人になると難しい。

「次世代に美しい地球を残す」という目標に向かって暮らしていきたい。

・2018年に開業されて7千トンの処理が、32千トンの処理となり、処理が増えて対応されているのが凄いなと思いました。処理されたものを電カーループと農業ループに分けて大企業に販売されて、SDGSに貢献されてると感じました。

・食品のリサイクルからガスを作る、肥料を作る、水もきれいにしてまた使う、本当に素晴らしい事業だと思いました。今後の環境問題でもっと力を入れていかないといけない事業なんだと感じました。

・廃棄品として処分される食品が、まだ賞味期限内であったこと。商品を段ボールから出して、人間の手を介して行っていたこと。捨てることにも人手がかかり、再生することにも人手がかかっていることが実感できました。

・受入ホッパーのごみの搬入シーンです。未開封のパスタの廃棄に心が痛みました、、、。不適物除去の積み替えシーンが見れてすごく良かったです。ごみ処理への認識が大きく変わりました。

・実際のフードリサイクルの様子が具体的に理解ができました。もっと世間に広がると嬉しいです。

・ゴミ収集車から、ホッパーに入れられるごみの中に、箱やビニールが多いこと、選別処理が大変だと思う。賞味期限内のスパゲティやピーナッツはどのような理由で廃棄されたのか気になりました。

2) 環境のどの分野に興味がありますか。

・ごみ削減。エネルギー消費減。

・ごみ分別とマイクロプラスチックが海に流れてる事、それを魚や小動物達が知らずに食べていることに衝撃を受けています。

・企業からの廃棄に少しショックを受けました。循環もとても必要だと思いましたが、新しい物をそのまま廃棄という現状に心が痛みました。

・ごみ、再利用、クリーンエネルギー

- 食品ロスの削減、身近にできるリサイクル、SDGsにつながる買い物のやり方
- 食品ロス、食品廃棄物
- 日常のごみでビニール包装が多く、ビニール包装を減らす取組みに関心があります。脱炭素、水素エネルギー、リサイクルなど。



実際の現場を見たことで、環境への影響やその対策についてより具体的に
考えることができました。とても貴重な経験でした。
ありがとうございました。



神奈川県マスコットキャラクター
かめ太郎